

新栄

第4号
平成23年冬号
医療法人 新井病院
編集発行 広報委員会

理念

1. 地域医療に貢献します
2. 良質な医療を提供します
3. 患者様の目線に立った信頼される医療機関を目指します

〒346-0003
埼玉県久喜市久喜中央 2-2-28
電話 0480-21-0070
<http://www.arai-byoin.or.jp/>



富士山
Photo 看護師 川内

新井病院の未来にむけて

明けまして おめでとう ございます。

新井病院では、2階建の東病棟を昨年5月に解体したあと、4階建の新病棟を建設するため工事を進めてまいりました。昨年末に無事工事が終了し一部、既存棟との結合部が着手中となっておりますが、本年1月9日にその増築部分への引越しを行いました。今後は、既存の病棟と外来の耐震工事と内装工事を行い6月中に工事が終了する予定となっております。既存棟の工事により、手術室の改装、リハビリテーション室の拡張のほか、健診室・談話室・多目的室が新設されます。

この度の工事により、耐震性が向上し災害に強い病院となるとともに、患者様のための環境が整備され、安心して快適な療養生活を送っていただけると確信しております。

診療面では、消化器・糖尿病・循環器・呼吸器・脳神経外科・整形外科・リウマチ等の専門医のもとでの予防医学と急性期の診療を充実させたいと思っています。病状によっては、1人の患者さんに対して専門的な立場からまた総合的な立場から診断できるよう、複数の医師が診療する体制を強化します。また、病状に応じて病診連携・病病連携をはかり、患者さんに最もふさわしい医療の提供をはかるために、病院のスタッフが一丸となって診療の向上に取り組むと思います。

なお、本年の6月まで本館（既存棟）の耐震および改修のため、今しばらく工事が続き、騒音や振動などでご迷惑ご不便をおかけしますが、新井病院の未来に向けての工事となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

新井病院 院長 関谷 栄



●糖尿病プログラム 3泊4日教育入院

～ もっと知ろう！！糖尿病 ～

前号でも紹介しましたが、昨年10月から12月にかけて第1回糖尿病教室を開催しました。

「検査と診断・合併症」「食事療法と運動療法」「薬物療法とフットケア」を3部に分けて、お話させていただきましたが、毎回20数名の方が参加されました。スタッフの話に耳を傾げるだけの一方通行的なものではなく、メモを取ったり、一緒に身体を動かしてみたり、足の観察をしたりと有意義な時間を過ごしていただけたと思っています。

参加された方にアンケートの協力をお願いしたところ「カロリー計算や食事療法の大切さがわかった」「食事に注意している」「運動するようになった」「血糖コントロールの大切さが理解できた」「老化と糖尿病の関係について知りたい」このような感想をいただきました。糖尿病教室は今後も継続の予定ですが、改修工事を行っているため、会場の確保が難しいのが現状で、現在日程については検討中です。決定次第、院内掲示やホームページに掲載させていただきますのでご了承ください。

さて、ここで糖尿病をもっと知っていただくために～糖尿病プログラム 3泊4日コース～を紹介します。糖尿病教室は集団での勉強会で短い時間のなかで集約されてしまいがちです。「糖尿病と言われたけれど、どうしてよいかわからない」「食事療法や運動療法は今の方法でいいのか」「合併症について知りたい」「血糖値がなかなか下がらないので原因を知りたい」といった悩みをお持ちの方は是非ご活用下さい。医師、看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師、検査技師の各糖尿病スタッフが協力し、効果的な糖尿病学習が行えるよう援助いたします。また、地域の診療所、クリニックの先生と連携を取って、よりよい診療を検討していきたいと思っております。

○入院の日時 月曜日から3泊4日コース（2泊3日も可）

○入院費用 3万円程度になります。（3割負担の方）

○連絡先 医療相談室まで Tel 0480-21-0070



インフルエンザに備える！

～うがいと手洗い方法～

●インフルエンザとは？

インフルエンザはウイルスの感染によっておこり、通常「風邪」と呼ばれる普通感冒とはちがう特徴を持っています。「風邪」の場合は、のどや鼻（せき・くしゃみ・鼻水など）に症状が出るのに対し、インフルエンザは1日から5日（平均で3日）の潜伏期間を経て急に38～40度の高熱が出て、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く出るのが特徴。これらの症状が4～5日ほど続き、重症化したり合併症を発生すると、命の危険に関わる恐れもある感染症です。インフルエンザは、感染者のくしゃみや咳などを介して、空中に飛び散ったウイルスを吸い込むことで感染する「飛沫感染」の危険性が高く、インフルエンザが流行している期間は感染の危険が高まりますが、ウイルスを吸い込んだからといって、すぐに感染・発症するわけではありません。ウイルスが身体の中に入り込む前に洗い流してしまえば感染を防ぐことができるので、外出時のマスクの着用、および外出後のうがい・手洗いが大切です。

●正しい「手洗い」の方法

1. 手を水でぬらし、石鹸をつけて両手の手の平をこすり合わせてよく泡立てます。
2. 手の甲をもう片方の手の平でよくこすり洗います。反対の手も同様に。
3. 指を組み、両手の指の間をこすり洗います。
4. 親指をもう片方の手で包み、こすり洗います。反対の親指も同様に。
5. 手の平を、もう片方の手の指先でこすり洗います。反対の手の平も同様に。
6. 爪の隙間を洗います。爪ブラシなどを使うとより効果的です。
7. 流水でよくすすぎ、石鹸をきれいに洗い流します。
8. 乾いた清潔なタオル、ペーパータオルなどで手を拭き、よく乾かします。

※仕上げにアルコール殺菌スプレーなどをすりこむと、更に効果的です。

※朝起きたとき、会社や学校に着いたとき、食事の前、トイレの後、掃除の後、そして帰宅後と、こまめに「手洗い」を行いましょう！

●正しい「うがい」の方法

1. 清潔なコップに水を入れます。
2. 口にふくみ、まずはブクブクうがいをします。
3. 水やうがい薬を口に含んで上を向き、のどの奥まで液が回るようにガラガラうがいを何度か繰り返します。

インフルエンザの予防には、うがい・手洗いが基本ですが、普段からの健康管理も大切です。また、ウイルスは湿度を嫌うため、加湿器などを利用して、室内の湿度を50～60%に保つのも有効です。規則正しい生活、栄養バランスのとれた食事、じゅうぶんな睡眠を心がけ、この冬も元気に過ごしましょう！



●編集後記

1月6日、新井病院の繁栄と安全を祈願するため鷲宮神社に新年恒例の祈禱に行き参りました。アニメの聖地であり☆らきすた☆で一躍有名になったことで、地元ではかなりの経済効果をもたらしているらしいですね。当日はイタ車を横目に参道を抜け、祈禱の申込を済ませ、テントの下でみかんを頂きながら順番待ち…厳粛な雰囲気の中、雅楽のBGM？でおはらいを受け1年の無事をお祈りし、大判焼をお土産に帰路に着きました。宝くじがあたりますように…とささやきが聞こえたのは気のせいでしょうか。

さて、今年は卯（うさぎ）年です。『うさぎ』はびよんと跳ねる姿から「飛躍する」「運気を跳ね上げる」と考えられているようで、非常に縁起の良い干支とされています。うさぎにあやかり、皆様の今年1年のお幸せをお祈り致します。